

2024年8月20日

要 望 書

平和を求め軍拡を許さない女たちの会
代表 田中 優子

小池百合子都知事が表明した関東大震災で虐殺された在日朝鮮人への追悼文を今年も送らないことについて抗議し、追悼文を送るよう強く要望します。

東京都慰霊協会は、関東大震災で虐殺された朝鮮人犠牲者を追悼する大法要の式典を、追悼碑が建てられた1973年以降、毎年行っており、歴代の東京都知事はこの式典に知事の名前で追悼文を送ってきました。しかし、小池氏が、都知事に就任した翌年の2017年から、この追悼文を送らず、本年9月1日の式典でも送らないことを小池都知事が表明しました。

1923年の関東大震災の際に、在日朝鮮人が流言飛語によって虐殺された事実は、政府の中央防災会議の報告書(2009年)ⁱによっても確認されており、研究者の間ではこの事実は定説として扱われています。ⁱⁱ

この史実を真摯に受けとめ小池都知事は、追悼文を送ってください。

小池都知事が追悼文を送ることは、都民に対し、今後もこのような差別や偏見、そしてそこから生まれるあらゆる犯罪を絶対に許さない、という強い姿勢を示すこととなります。それこそが、小池都知事が何度も繰り返している「ダイバーシティ(多様性)」を重視していることの表明になるはずです。

追悼文の送付は、アジアの中で日本が在日朝鮮人の虐殺という加害の歴史に向き合い続けるという都の姿勢を示し、アジア諸国に対するメッセージになるはずです。どうか、追悼文を送付しないという判断を見直し、9月1日の式典では、歴代の都知事が行ってきたように虐殺された在日朝鮮人への追悼文を送ってください。

以上

以下、注記

ⁱ 内閣府 中央防災会議 災害教訓の継承に関する専門調査会報告書 平成21年3月 1923 関東大震災【第2編】第4章 混乱による被害の拡大「第2節 殺傷事件の発生」

ⁱⁱ 東京大学で在日朝鮮人の歴史が専門の外村大教授らは2024年8月5日、都庁で会見を開き「小池知事は追悼文の送付をやめ、虐殺の事実があったかどうかの認識を示していない。定まった評価を受けている学説への信頼を損ねている」と述べました。